

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下屋敷 寛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,288	5.1	380	7.7	156	24.3	60	46.1
2019年3月期第3四半期	10,738	2.2	412	12.1	206	19.3	112	31.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 62百万円 (45.1%) 2019年3月期第3四半期 114百万円 (29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	5.30	
2019年3月期第3四半期	9.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	18,465	1,120	6.1	97.63
2019年3月期	18,316	1,080	5.9	94.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,120百万円 2019年3月期 1,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,903	4.5	464	6.1	139	36.1	46	184.6	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	11,476,000 株	2019年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	137 株	2019年3月期	137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	11,475,863 株	2019年3月期3Q	11,475,863 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅実に推移し、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米中間の通商問題など海外経済に関する不確実性が高まっており、先行きの不透明な状況が続いております。

介護サービス業界におきましては、引き続き超高齢化社会への移行に伴い、介護サービスの利用者数は増加し、需要は更に高まっております。

その一方で、様々な業種にて人材不足が叫ばれている中、介護サービス業界におきましても、海外の人材も含め、人材確保に取り組むことは急務となっており、有資格者の確保はとりわけ困難な状況となっております。それらを改善するために、業界では、介護事業に従事することが社会において魅力があり、生きがいを持てる環境造りが求められております。

このような状況のもと当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）におきましては、収益面では、既存施設において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めるとともに、デイサービス施設1施設及びケアプランセンター3施設を新規開設し、積極的な施設展開を図ってまいりました。また、費用面では、介護職員に係る人件費の増加により売上原価が増加するとともに、税務調査による消費税等の追加計上や業務拡大に伴う管理部門の強化等により販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は112億88百万円（前年同四半期比5.1%増）となり、営業利益は3億80百万円（前年同四半期比7.7%減）、経常利益は1億56百万円（前年同四半期比24.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円（前年同四半期比46.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①（デイサービス事業）

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は27億30百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は3億21百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

②（施設サービス事業）

当セグメントにおきましては、既存有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は78億16百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は9億76百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

③（在宅サービス事業）

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は6億87百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント損失は48百万円（前年同四半期はセグメント損失74百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は37億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が1億69百万円増加し、売掛金が2億71百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は146億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少しました。この主な要因は、有料老人ホーム及びデイサービス施設の建物及び構築物が44百万円、リース資産が1億84百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は56億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億86百万円増加しました。この主な要因は、短期借入金が3億85百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は117億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が2億75百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は184億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	811	981
売掛金	2,333	2,604
その他	212	211
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	3,355	3,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,932	4,887
土地	2,288	2,278
リース資産（純額）	4,845	4,660
その他（純額）	189	123
有形固定資産合計	12,256	11,950
無形固定資産	56	79
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,172	2,287
その他	478	356
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	2,648	2,640
固定資産合計	14,961	14,669
資産合計	18,316	18,465

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208	224
短期借入金	2,765	3,150
1年内返済予定の長期借入金	765	796
未払法人税等	87	39
賞与引当金	211	60
その他	1,188	1,341
流動負債合計	5,226	5,612
固定負債		
長期借入金	4,828	4,553
リース債務	5,838	5,698
退職給付に係る負債	425	472
その他	917	1,008
固定負債合計	12,009	11,732
負債合計	17,235	17,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	432	432
資本剰余金	308	308
利益剰余金	342	380
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,083	1,121
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△2	△0
その他の包括利益累計額合計	△2	△0
純資産合計	1,080	1,120
負債純資産合計	18,316	18,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,738	11,288
売上原価	9,452	9,877
売上総利益	1,285	1,411
販売費及び一般管理費	873	1,031
営業利益	412	380
営業外収益		
受取利息	8	7
受取賃貸料	10	12
その他	12	19
営業外収益合計	31	39
営業外費用		
支払利息	236	260
その他	0	3
営業外費用合計	236	263
経常利益	206	156
税金等調整前四半期純利益	206	156
法人税、住民税及び事業税	25	38
法人税等調整額	67	57
法人税等合計	93	95
四半期純利益	112	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	112	60

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	112	60
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	1	1
四半期包括利益	114	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ディサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,614	7,440	631	10,686	52	10,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	321	321
計	2,614	7,440	631	10,686	374	11,060
セグメント利益又は 損失 (△)	275	935	△74	1,136	48	1,184

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,136
「その他」の区分の利益	48
セグメント間取引消去	△0
全社費用 (注)	△772
四半期連結損益計算書の営業利益	412

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,730	7,816	687	11,234	54	11,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	490	490
計	2,730	7,816	687	11,234	545	11,779
セグメント利益又は 損失 (△)	321	976	△48	1,250	63	1,313

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,250
「その他」の区分の利益	63
セグメント間取引消去	△0
全社費用 (注)	△933
四半期連結損益計算書の営業利益	380

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	9円84銭	5円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	112	60
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	112	60
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,475	11,475

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。